



胸いっぱいの思い出ありがとう「さようなら」

賀茂幼稚園卒園式

あなたの声が届く町政へ

2

産地直売所の建設開始へ

6

森林整備基金条例を制定

8

3月14日(木)に
賀茂幼稚園最後の
卒園式が行われま
した。

議会だよりは、西伊豆町
ホームページでも御覧に
なれます。

あなたの声が届く町政へ

平成31年度 西伊豆町長 施政方針(抜粋)

予算編成

町政運営の基本的な考え方としては「あなたの声が届く町政へ」という考えを引き続き持って、町民の声を大切に、何事にも自分事と捉えて取り組んで参りたいと思います。

行政も町民と同じ目線に立っているということが、西伊豆町のまちづくりをする上で、最も重要なのではないかと考えております。

平成31年度は、産地直売所の建設や津波避難タワーの建設など、今まで下準備してきたものが形となって現れます。

そういった状況にあって満足するのではなく、その次のことを考え、同時並行的に物事を進めていかなければなりません。10年後20年後を見据え施策を実施して参ります。

総合計画作成

平成31年度より計画に沿った運用を予定して参りましたが、諸事情により作成が遅れておりますので、まずは確実な作成と現実に即した内容にしていきたいと思っております。

斎場建設

平成30年度に斎場建設準備委員会で、候補地の提言をいただきました。

4月以降に当該区長さんに住民説明会を開催する旨の説明をさせていただいた後に、住民説明会を開催し、当該区以外の区へも説明会を順次行い、町民のご理解をいただいで参りたいと存じます。

高齢者福祉

西伊豆町は高齢化率県下1位ですが、お達者度は35市町中、最下位であり社会保障費を増加させる状況にあります。

平成30年度には健幸づくり事業として、先進地視察を行い、平成31年度に実施する健康マイレージ事業などの実施に向け準備をして参りました。

この事業を通じて、高齢化率は高くとも、元気でお達者な年配者のいる西伊豆町にするべく取り組んでいくとともに、皆さんの努力で健康寿命を延伸していただければと考えています。

また、1年間介護保険制度をご利用いただかなかった方に、保険料の軽減として10000円の給付を行います。今後予想されている介護保険料改定では現状から少しでも値下げが出来るよう取り組んで参ります。

教育

平成30年度から、高校生のバス代補助を始めましたが、手続きの簡素化をし、利便性を高めたいと思います。

文教施設では、賀茂幼稚園を伊豆海認定こども園に統合いたします。

環境が変わる園児や保護者のご理解をいただける園運営に努めるとともに、地域とのかかわりも残していけるよう取り組んで参ります。

学校統合に向けては平成31年度に考えられる調査費を盛り込み遅滞のないように取り組むとともに、教育委員会内に学校建設係(仮称)を設け、今まで行ってきた、教育行政に支障のないような配置を行いたいと考えております。

子育て支援

出産しやすい環境づくりとして、不妊治療の助成は行って参りましたが、授かっても育たない不育症の治療として、不育治療費助成事業を予算に計上しました。

防災

平成31年度に津波避難タワーを2基建設予定しており、場所は、仁科浜区に1ヶ所・安良里地区に1ヶ所でございます。

また、旧消防署跡地への消防団詰所兼津波避難タワー建

設に向け調査設計業務を進めていきたいと思っております。

産地直売所

1次産業者の活気・活力になることと、西伊豆の素晴らしいものを都市部へ直接売り出す拠点となることを期待しております。

ふるさと納税制度では、地域の皆さんが精魂込めて作ったものを適切にお届けしたいと考えておりますし、今までは水産加工品が大部分を占めておりますが、この施設ができることにより農産品の発送も可能になると思っております。

町内だけで売るのではなく外に打って出ることにより、売れるから作る・作るから売れるという良い流れができると期待しております。

世界農業遺産の水ワサビ

平成30年に、静岡水わさびの伝統栽培が世界農業遺産になりました。

地場の良いものを提供し、西伊豆ブランドを作らないといけないと思いますので、本物のワサビ仕入補助を平成31年度に起案検討していきたいと思っております。

林業

国は、平成31年度から森林環境税導入の前倒し事業を開始します。

西伊豆町は今後林業を町として応援していくんだという

意思を示す必要があるので、森林整備基金条例を今議会に上程し、条例が成立したならば基金を積み、林業に取り組む姿勢を見せる必要があると思います。

漁業

来年度は産地直売所が本格稼働します。その時に合わせて、鮮度のいいものを提供できる体制づくりが必要だと思います。

漁業者ともしっかりと協力し漁業の活性化を行っていききたいと思います。

観光

町内には、老朽化した看板や案内標識が目立つようになっています。修繕などを実施していきたいと考えております。

西伊豆町をPRするために広告宣伝費を増額し、誘客に努めていきたいと思っております。

商工

商工会から要望がありました住宅・店舗リフォーム補助を実施するために500万円を計上いたしました。

今後も商工会と連携し、地域の活性化に努めていきたいと思っております。

空き家対策

平成30年度に、町内の空き家を調査いたしました。

現在所有者に賃借が可能かを確認しているところでございます。

賃借・売買が可能な物件につきましては、不動産業者と連携をし、移住定住に活用できればと思っております。

地域要望

現在、産業建設課に作業員さんが一組いますが、平成31年度から二組体制にし、細々したものは自前の作業員で対応できればと思っております。



町長の施政方針

大 綱 質 疑

総 括

質問 「新たな産業や事業を呼び込んで、働き場所を作るということも必要」とあるが、大学の観光学部誘致は考えられないか。

町長 賀茂郡下の広域連携の中で話は出ていますが、大風呂敷でなく確実性のあるものを考えています。

斎場建設

質問 斎場建設準備委員会の提言がまとまったが、委員が住民の意見をすべて代弁しているとは限らない。

今後、建設計画の住民説明会が行われるが、説明会に出席者が少なかった場合でも、計画の理解を得られたと考えるのか。

町長 総論賛成・各論反対の方々がいると思います。

参加者が多い少ないにかかわらず、しっかりと説明を行い、10人が10人全員賛成ということは難しいと思っ

ていますが、なるべく10人に近づける努力をしていきます。

理解が得られたか否かの判断は、その時にしたいと考えています。

質問 建設予定地区においては、住民投票を行うことは考えられないか。

町長 投票にゆだねることはしないほうが良いと考えています。

産地直売所

質問 住民の間には施設の運営に不安を感じている方がいる。管理する者の強い気構えが必要だが。

町長 志の高い方々の提案で進める事業ですので、しっかりと管理していただけるものと考えます。

空き家対策

質問 空き家を調査し、「賃借・売買が可能なら不動産業者と連携して、移住定住に活用したい」とあるが、

どのようなものか。

町長 空き家を町でしっかりと把握したのちに、町からお願いし賃借・売買を進め、移住定住につなげたいものです。

一般会計

質問 待機児童について、保育園に入園を申し込んだが断られた事例があると聞いたが。

町長 事案は承知していますが、現在は仁科認定こども園しか受け入れられないのでお断りしました。

質問 旧消防署跡地に消防団第4分団詰所と避難施設を建設する計画だが、消防団との合意はできているのか。

町長 できていると思っています。

国民健康保険特別会計

質問 保険税が全国的にも高い中で、高校生以下の均等割の減免はできないか。

町長 今は考えていません。

水道事業特別会計

質問 施設の老朽化対策工事費で、単年度資金収支が約7千万円の赤字予算になるが必要な事業か。

町長 老朽化したものを放置しておくわけにはいきませんし、安全で安心・安定的な供給のため実施しなければなりません。



議案審議

新年度予算6.9%増(一般会計)

収入(歳入)

給料 (町税等)	9億1189万7千円
実家からの仕送り (地方交付税)	22億3000万0千円
兄弟からの援助 (国・県補助金)	8億9378万5千円
貯金取り崩し (繰入金)	8億3932万7千円
バイト代 (その他の収入)	7億289万1千円
借金 (町債)	2億8610万0千円



一般会計予算を家計簿にたとえて作表しました。

収入合計 58億6400万円

支出(歳出)

生活費 (総務費)	8億1466万7千円
年金・保険料等 (民生費)	10億5239万7千円
薬代・ごみ処理代 (衛生費)	5億7025万4千円
農薬代・養魚飼育餌代 (農林水産業費)	4億3393万1千円
商品購入・旅行代等 (商工費)	4億5636万7千円
家屋修理代 (土木費・災害復旧費)	2億8895万5千円
消火器購入 (消防費)	6億1593万9千円
学費仕送り (教育費)	5億6641万1千円
ローン返済 (公債費)	6億1727万4千円
区・町内会費 (議会費)	8152万0千円
雑費 (諸支出金)	3億6128万5千円
へそくり (予備費)	500万0千円

支出合計 58億6400万円

(特別会計)

会計名	歳入歳出総額	前年度対比	増減(%)
国民健康保険特別会計	12億5600万0千円	△ 1800万0千円	△ 1.4
後期高齢者医療特別会計	2億9490万0千円	△ 610万0千円	△ 2.0
介護保険事業特別会計	15億3400万0千円	3600万0千円	2.4
水道事業会計	4億743万8千円	1億6212万2千円	66.1
温泉事業会計	1億3149万4千円	2143万9千円	19.5

※水道事業会計及び温泉事業会計は、収益的収入と資本的支出の合計額です。

産地直売所の建設

開催期間	3月5日から3月15日まで
審議した案件	町長提出議案 20件
可決した主な議案	平成31年度一般会計予算 ほか5つの特別会計予算 一般会計補正予算(第10号) 国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 介護保険事業特別会計補正予算(第3号) 森林整備基金条例の制定 など

こんなことが、決まりました。

一般会計 (賛成7：反対3)

問 森林譲与税を基金に入れ利用する場合、資金の使途や公表も難しい。

制度上の問題はないのか。

答 前倒し事業として始めておりますが、国から明確な指導がありません。使途や公表は融通がきくと聞いており、指導があればそれに準じて活用するようにします。

問 産地直売所使用料の決め方は。

答 事業実施と同時並行的に、指定管理者制度の検討をします。その委員会のなかで使用料を決定します。

詳細はこれから検討していくこととなります。

問 行政推進委員年手当の増額を検討すべきでは。

答 現状のままでいきたいと考えます。区の会計から手当を支給しているところもあり、まずは区内で検討していただきたいです。

問 地域商社事業の委託事業が終了するが、運営は大丈夫なのか。

答 31年度で終わる事業ですが、あくまでも事業を委託しているもので、運営などはおのこの問題です。

問 ひとり暮らし老人緊急通報電話事業の現況と、申請しても配布されていない世帯はないか。

答 現在の設置台数は53台で、来年度は10台を予定しています。申請者には年度中に

は設置されます。

問 防災行政無線の子局改修の現況とデジタル方式移行への見込みや構想などは。

答 子局はデジタル化を見込み工事を見送ってきました。新年度は整備計画の作成を考えています。

今後は、使用中のアナログ機器を電波法改正に対応した規格に改修し、運用していく方針です。

問 文教施設統合の中で、園舎は津波浸水高に加算して地盤高を考えては。

答 園舎については、まず今の浸水域から外すということと、裏山にすぐに避難できる避難路を整備することで、対応していきたいと考えています。

開始へ

国民健康保険特別会計 (全員賛成)

問 国保が広域化されたが、保険税率の統一はいつになる見込みか。

答 早目の提示を求めています。県からは何年を目途にというはっきりした表示はありません。

問 保険者努力支援分の交付金があるが、どのような取り組みが対象となるのか。

答 保険税の収納率や、特定健診の受診率・検診結果に基づく保健指導などが評価指標として算定されます。

問 保険給付費の算出根拠は。

答 一般被保険者療養給付は減少傾向ですが、余裕をみて30年度と同額としました。一般被保険者療養費(針・灸・マッサージなど)は実績により増額しています。

問 保健指導事業等業務の委託先と事業内容は。

答 東京の出版会社です。全額国費で特定健診の未受診者及び隔年や不規則受診者の「まだら受診者」に対する干涉通知や、結果説明会にあわせ、保健指導や運動教室を実施しています。

- ◎本年度中の完成を目指し、整備事業予算として1億3200万円を計上(ふるさと納税を6401万2千円活用)
- ◎機器購入費として3400万円を計上(ふるさと納税を2770万円活用)
- ◎施設整備後は指定管理者制度を検討
- ◎西伊豆町の魅力をPRし、1次産業から6次産業までの振興を目指します

問 年金受給権者リスト作成費負担金の内容は。

答 退職被保険者の確認のため、国保連合会へと委託しています。

介護保険事業特別会計 (全員賛成)

問 保険者機能強化推進交付金の詳細は。

答 地域密着型サービス事業者の運営状況を踏まえて協議会などで必要な事項を検討しているかや、実地指導の実施など、その割合によって算定されます。

問 訪問リハビリ増加の状況をどう判断しているか。

答 町内の2施設に在籍するリハビリ専門職が対応しますが、ニーズ増加に追い付かない状況で、人材不足に苦慮しています。

問 居宅介護住宅改修を3者見積りにした理由は。

答 複数見積りを取るよう国から通知があり、適正利用を考慮し10万円未満は2者見積りに、10万円以上は3者見積りにしました。

後期高齢者医療特別会計 (全員賛成)

水道事業会計 (全員賛成)

問 先川浄水場・野畑中継ポンプ場更新用ポンプ等製作工事の内容は。

答 電気料削減を見込み、3基ずつの機種を2基に変更し、高効率のモーターを組み合わせます。

問 この工事は国の交付金事業だが、交付がない場合は。

答 交付がなくても、町費で事業を実施する予定です。

問 漏水調査費が前年と比べ半額になった理由は。

答 町内全域の調査が終了し、スポット調査に切り替えるためです。

温泉事業会計 (全員賛成)

問 堂ヶ島温泉主配湯所配湯ポンプインバータ制御工事の内容は。

答 浜・大浜地区の配湯ポンプを3台にし、インバータ制御化することで、省電力化を見込みます。

問 施設建屋の耐震性は。

答 昭和50年代に建てられた施設ですので、今後、調査する必要がありますが、具体的な計画はありません。

林業促進のために森林整備基金条例を制定

賀茂幼稚園を廃園・伊豆海認定こども園

防災・安全交付金事業(町)
浮島新線法面改良工事変
更請負契約の締結
(賛成9：反対1)

施工延長・吹付法砕工延長・モルタル吹付工・舗装工の変更、交通誘導員の追加、工期の延長による1249万6680円を追加し、変更後の契約額を8075万2680円とするものです。

森林整備基金条例の制定
(全員賛成)

林業事業を積極的に行うため、作業道の開設を含めた間伐事業など、森林の整備や事業促進に充てる基金を設置するものです。

問 積立額の目安は。

答 まずは1億円位を積立て、県の森林環境譲与税の繰り出し金が積み立てられれば、合わせて運用していきたいです。

問 間伐事業以外の運用は。

答 人材育成・担い手確保、木材利用喚起などにも運用したいです。

問 個人林は運用対象か。

答 個人林や民間林への運用は難しいです。

区有林を含め県・国の有利な補助制度を利用しているだけでいいです。

認定こども園条例の制定
(全員賛成)

認定こども園は、幼稚園・保育園の条例で運用してきましたが、30年度で賀茂幼稚園が廃園となり認定こども園2園となるため、関係条例・規則を見直し、新たに町立認定こども園条例を制定するものです。

賀茂幼稚園廃園に伴う関係条例の整理に関する条例案
(全員賛成)

賀茂幼稚園の廃園に伴い関係する4つの条例を改廃するものです。

問 保育教諭補は幼稚園・保育園どちらかの免許を持っていればよいのか。

答 両方の免許を有する方となります。

特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する
条例の一部を改正する条例案
(全員賛成)

鳥獣の捕獲・防護柵の設置など鳥獣被害防止施策を適切に実施するため「鳥獣対策実施隊」を設けたことによる区分・報酬額を追加するものです。

水道事業給水条例の一部を改正する条例案
(全員賛成)

学校教育法、水道法施行規則及び技術士法施行規則が改正されたことで、条例の一部を改正するものです。

静岡地方税滞納整理機構規約の一部を変更する規約
(全員賛成)

地方税法の改正により、平成31年10月1日から自動車取得税が廃止され、合わせて軽自動車税環境性能割が導入されるため、軽自動車税・自動車取得税の申告書処理などの事務の規定を変更するものです。

学校普通教室エアコン設置完了は6月末

と統合 仁科認定こども園との2園体制

一般会計補正予算 (第10号)

(全員賛成)

事業精算見込による予算額の整理などで、歳入歳出予算総額からそれぞれ4144万2000円を減額し、総額63億1000万円とするものです。

問 耐震診断義務化対象建築物耐震改修事業補助金の1億6715万8000円の減額理由は。

答 国・県・町の補助を受けて耐震改修工事を予定していた事業者さんから、設計を経て発注見積の段階で予定より多額になることが分かり、今年度は工事を見合わせたいとの意向がありましたので今回は予算を削りました。

問 各学校の空調設備工事が繰越明許費となっているが工事工程は。

答 当初は早い段階での入札を予定していましたが、設計業務の精査に時間がかかり遅れました。

3月発注でもゴールデンウィーク期間中も施工すれば、6月末に完了する予定です。

国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

(全員賛成)

一般被保険者療養費の伸びに伴う県普通交付金の増額、延滞金・第三者納付金の増額など、歳入歳出予算総額にそれぞれ9500万円を追加し、総額13億7600万円とするものです。

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

(全員賛成)

保険料・前年度繰越金を増額し、諸収入として前年度事業の確定による広域連合からの超過納付分の返還金を受け、一般会計に繰り出すなど、歳入歳出予算総額にそれぞれ1349万円を追加し、総額3億1449万円とするものです。

介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

(全員賛成)

主に、保険給付費の減額分と前年度繰越金の全額計上で、歳入歳出予算総額にそれぞれ2680万円を追加し、総額15億4210万円とするものです。

(普)坂本川改修工事変更請負契約の締結

(全員賛成)

1工区護岸嵩上げ工・2工区プレキャストカルバート工、付帯工、仮設工などの増減による110万2680円を追加し、変更後の契約額を5105万2680円とするものです。

職員定数条例の一部を改正する条例案

(全員賛成)

学校・園統合に向けた設計業務などの増大に対応するため、事務局内に新たな係を設置するもので、教育委員会事務局の職員定数を8人から10人に改正するものです。

特別職の職員で常勤のもの の給料等に関する条例 の一部を改正する条例

(賛成5：反対5)
議長裁決により否決

3月1日の町職員人身事故不起訴処分の発表を受け、町長・副町長より管理・監督責任の申し出があり、平成31年4月に支給されるべき給料月額を10%減額するための条例の一部改正です。

第1回臨時会

平成31年2月12日

一般会計補正予算 (第9号)

(賛成9：反対1)

浮島新線法面改良工事に1240万円を増額し、工事完成を図るものです。

問 増額の内容は。

答 法面吹付の種子を国産種のみに変更することや吹付け面積・掘削土の運搬量・交通整理人が増えたことなどです。

問 一般社会の契約では、請負工事費は変更なしで対応するが。

答 工事の完成出来高で、増額変更もあれば、減額変更することもあります。

津波防災ステーション 工事変更請負契約

(賛成9：反対1)

入札差金を充当し、国県補助金の満額を使い工事進捗を図る、696万6000円を増額契約です。

問 浜川浜橋に架かる配線工事の方法は安全か。

答 橋げたの横に設置した保護管の中に配線しています。

問 浜川は6年前の豪雨で被害を受けた河川だが、そこに配線することは安全か。

答 浜川は県の防災工事対策をしていますし、津波は、水門で対応しています。

漁港内航路浚渫工事変更 請負契約

(全員賛成)

浚渫土量の減により、運搬処理する残土処分費用が減り、509万2200円の減額契約です。

問 大浜船揚場の浚渫土を、大浜海水浴場沖に投棄するが、別の場所に投棄できないのか。

答 投棄場所の選定では、大浜海水浴場では砂が減少して困っている一方で、安城

岬の方に投棄するのでは海岸に砂が溜り困るなどの状況があり、漁協と協議し決定しました。

問 安良里漁港の浚渫土は、ヘドロ状態に薬品を入れて固め水分を切った後、鷹ノ巣残土処理場に処分したが、処理場内では雨が降った後、粘土状態になっているが対策は。

答 処理場の排水工事ができていない影響なので、処理場管理委託業者に工事の指示をしました。

問 有害物質等の確認は行ったのか。

答 浚渫前に調査を行い、浚渫後の調査でも基準値を下回っています。



処理場の適正管理を

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	堤 豊	山 本 洋 志	山 本 智 之	芹 澤 孝	高 橋 敬 治	加 藤 勇	山 田 厚 司	西 島 繁 樹	堤 和 夫	山 本 榮	増 山 勇	議決 結果
第1 回臨時会	30年度 農山漁村地域整備交付金 津波防災ステーション工事(安良里地区) 変更請負契約の締結 [696万6000円を増額するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	可決
	30年度 西伊豆町漁港内航路浚渫工事 変更請負契約の締結 [509万2200円を減額するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	30年度 西伊豆町一般会計補正予算(第9号) [1240万円を増額するもの]	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
3 月 定 例 会	30年度 防災・安全交付金事業 (町)浮島新道線法面改良工事変更請負契約の締結 [1249万6680円を増額するもの]	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	森林整備基金条例の制定 [条例制定]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	西伊豆町立認定こども園条例の制定 [条例制定]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	西伊豆町立賀茂幼稚園廃園に伴う関係条例の整理に 関する条例の一部を改正 [関係4条例の一部改正及び廃止]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に 関する条例の一部を改正 [鳥獣被害対策実施隊員を追加するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	水道事業給水条例の一部を改正 [学校教育法等の改正に伴い改正するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡地方税滞納整理機構規約の条例の一部を変更 [地方税法の改正に伴い改正するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	30年度 一般会計補正予算(第10号) [4144万1千円を減額するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	30年度 国民健康保険特別会計補正予算(第3号) [950万円を増額するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	30年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) [1349万円を増額するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	30年度 介護保険事業特別会計補正予算(第3号) [2680万円を増額するもの]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	31年度 一般会計予算 [当初予算]	○	×	○	×	—	○	○	○	○	○	○	×
31年度 国民健康保険特別会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	可決
31年度 後期高齢者医療特別会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	可決

議案の議決結果 (つづき)

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	堤 豊	山本 洋志	山本 智之	芹澤 孝	高橋 敬治	加藤 勇	山田 厚司	西島 繁樹	堤 和夫	山本 榮	増山 勇	議決 結果
3 月 定 例 会	31年度 介護保険事業特別会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	可決
	31年度 水道事業会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	可決
	31年度 温泉事業会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	可決
	30年度 (普)坂本川改修工事変更請負契約の締結 [110万2680円を増額するもの]	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	可決
	職員定数条例の一部を改正 [教育委員会職員の定数を2名増とするもの]	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	可決
	特別職の職員で常勤のものの給料等に関する条例の 一部を改正する条例の制定 [町長等の31年4月分の給料を10分の1減とする もの]	○	×	○	×	-	×	×	○	○	○	×	否決 ※

議長 (高橋敬治) は採決に加わりません。

※可否同数のため議長裁決により否決されました。

議会の動き

賀茂郡町議会議員研修報告 (2月7日 河津町)

演題「町村議会を取り巻く状況」

全国町村議会議長会事務局総務部長 三宅 達也 氏

町村議会の抱える課題

議員定数・議員年齢・議員報酬・議会事務局の充実



健康福祉センターふれあいホールにて

最近の地方議会をめぐる動向

- ・町村議会議員の報酬のあり方の中間報告
- ・議会の機能強化及び議員のなり手確保に関する重点要望
- ・地方議会議員の年金をめぐる動き

町村議会の活性化の取り組み

一般質問は住民目線で、更なる向上を目指すこと、住民に開かれた会議を目指すこと、町村議員として自覚と自信を持ち活動すること、議会事務局の強化を検討することなど、大変参考になり、今後の議員活動の糧にしていきたいです。

広報編集委員 堤 豊

第 1 常 任 委 員 会 報 告

12月18日に教育委員会、2月26日に健康福祉課の所管事務調査を実施しました。

教育委員会

賀茂・田子小学校は複式へ

町内乳幼児数の状況や、今後の児童、生徒数の推移と複式学級の予測について説明を求めました。

* 町内乳幼児数の状況

0～5歳児の総数は146人で、3～5歳児は30人以上ですが、1～2歳児は20人以下です。

* 賀茂小学校・複式学級の可能性

3年後に2～3年生で複式となり、5年後には1～2年生も複式となります。また統合しなかった場合、6年後には全学年が複式となり教職員数は、校長と教頭を含め5人となり、養護教諭や事務員の配置もなくなります。

* 田子小学校・複式学級の可能性

人数の上では複式の学年がありますが、町が補助教員をつけて免れている状況です。

* 町内中学校・クラス数の推移

現在は2校合わせて9クラスありますが、3年後統合しないと各学年1クラスの6クラスとなり、5年後には統合しても新1年生が1クラスの5クラスになる見込みです。

基本理念、方針はまだこれからで、静浦中・戸田中・土肥中などの先進地視察をして検討を重ね、これから統合準備委員会で素案をつくり、今後の推移を注視して情報公開に努めたいです。



健やかな学校づくりを

健康福祉課

児童虐待件数は現状なし!!



ご近所で声を掛け合いラジオ体操!!

児童の虐待防止の機運が高まるなかで、西伊豆町の現状と体制を調査、また国保・介護・後期高齢者会計の決算見込の説明を求めました。

* 要保護児童対策地域協議会で防止・早期発見へ

虐待等の防止、虐待等の早期発見、要保護児童への迅速な支援を目的に、児童福祉機関（町内認定こども園など）、教育機関（町内小中学校など）、警察、社会福祉協議会などで構成される要保護児童対策地域協議会は、役割分担・機能強化を図りながら目的達成のため協議しています。

* 各種事業で健康づくりの町へ

保険関連3会計の決算見込の説明で西伊豆町の傾向・課題や健康づくりのため取り組む各種事業を研修しました。今後は紙芝居などでも公報活動をしていきます。

児童虐待事例はありませんが、ネグレスト、養護などのケースはあり、情報交換や児童相談所（下田市）との連携、協議体制の強化が必要です。また「健康」を「健幸」とよべるように皆で健康づくりに取り組みたいです。

第1常任委員長 山田 厚司

第 2 常任委員会報告

2月6日に環境課の所管事務調査を実施しました。

環境課

クリーンセンター運営状況

◎クリーンセンターは環境課で管理しており、事務職員3名、臨時職員1名、作業員は正職員5名、臨時職員3名です。

◎ゴミ収集や分別・粗大ゴミ収集業務全般について、利用者からの苦情などもなく順調に運営されている報告がされました。

◎本年度実施している焼却炉耐火物補修工事の進捗状況は、現在、耐火煉瓦などの製作を行っており、2月14日から炉を停止し、煉瓦の取り除き、積み替えを行い、3月12日から48時間の乾燥焼きを行い、完成となります。

◎大型家具や畳などの処分についても、事前に電話などで相談をすれば、対応できるとのことです。

ミックスペーパー・古着の回収

女性会・消費生活研究会の方々の意見も取り入れ、7月1日から、お菓子の上箱・包装紙・紙の手提げ袋などのミックスペーパーやワイシャツ・スーツ・ズボンなどの古着類は、リサイクル品として回収（焼却場に持込）が始まりました。

本年1月からは、役場本庁舎・支所・出張所でも回収できるようにし、既に4500kgを超える回収



延命は重要課題

があり、リサイクルの推進と焼却量の減量化に寄与しています。

回収したものは業者委託処理で、処分費はかからず1kg1円で引き取ってもらいます。

皆様には、さらなるリサイクル品（資源として活用）の分別に、ご協力をお願いします。

最終処分場の延命化

最終処分場には焼却灰・ガラスと陶器類を粉砕した物が処分されています。

本年度より、処分場の延命化を目的に、ガラスと陶器類の町外委託処理（費用200万円）を始めました。

年間で約50t・25%分の処分量減になり、平成34年度までの埋め立て終了予定でしたが平成37年度まで、約3年間の延命が図られることとなります。

処理されるガラス・陶器類は、細かく砕かれ道路工事などの路盤材として再利用されています。平成32年度以降に処分場の測量を行い、実際の埋め立て可能残量を調べる予定です。

最終処分場は満杯になった後にも管理が必要で、法面の雨水対策を進めることや、処分場のさらなる延命化ができるよう検討しよう提言しました。

第2常任委員長 加藤 勇



袋に入れて持込を

基金60億円を活性化に

(町長) 職場の確保と起業支援



山本 洋志 議員

質問 町が保有する基金約60億円の活用次第では、将来の町の運命を変える非常に重要な時に直面している。

今こそ過去の政治を見直し、どうしたら活性化するのか、町民のために何をすべきか、若者への仕事作りは何かを伺いたい。

町長 19件の基金のうち、減収補填などに利用できるのは財政調政基金28億円のみです。

大学卒業後、町に帰っていただくために職場の確保が重要であり、サテライトオフィス事業などで起業を目指す方の支援を行います。

質問 河津ざくら真っ盛り、国道414号は大渋滞、一方、国道136号はガラガラだ。

これを見て政治に係わる者なら、名所づくりの30年の差が歴然としていないだろうか。わが町には、海、夕陽、富士がある。名所作りに一早く取り組み、どこにも負けない観光地になると考えるが。

町長 黄金崎の桜が傷んでいるので、30年11月から植えなおし事業を進めています。

学校建設に大反対

将来の西伊豆町のために必要

質問 園児、生徒の減少や教育の面から見ても統合はやむをえないが、新たな学校建設は大反対である。津波に対して安全に利用できる校舎はある。将来の人口減は必須で松崎町との統合も考えられる。箱物は作らない町長が、数十億円もの大箱物をなぜ作りたがるのか。

町長 将来の町のために必要な建物だと考えています。

入札業者の広域化

支出をおさえる事は重要

質問 税収が少ない中、固定資産税、町民税など負担をお願いしている一方、支出の大口は公共事業だ。

請負金額を下げるための入札業者の広域化は。

町長 支出をおさえる事は重要です。入札は適正に処理しています。町内業者による就業の場の確保、法人税の還元なども重要です。



わが町の活性化を



加藤 勇 議員

津波避難路整備は

(町長) 区長と現場確認しながら

質問 23年3月11日の東日本大震災以降、町内で津波避難路の整備が進んだが、舗装もされず道幅も狭い箇所が見受けられる。

また、避難路の維持管理は地区の皆様の高齢化が進み困難になってくる。

町は今後5年間で、津波避難タワー5カ所、津波避難施設・命山を各1カ所整備する計画となっている。

あわせて避難路の新設・改良・手摺の設置など避難路を見直す考えはないか。

町長 町民防災会議で、避難路の新設場所や既設避難路の改修方法などをブロック別に冊子にまとめた「津波避難行動ルールブック」を作成し、情報共有を図るため各戸配布しました。

ルールブックには各地区の避難路・避難地の課題をどのように解決するのかをまとめてありますので、各地区の区長さんと現場を確認しながら、順次整備を進めたいと考えています。

質問 地震はいつ発生するか分からない。

夜間避難対策として避難路に常夜灯の設置はできないか。

町長 町民防災会議でも議論されましたが、すべての避難路に設置することは多額の費用がかかるので難しいです。

各家庭で対策を図っていただきたいです。

体育館の下履き利用

利用の仕方が適切なら

質問 不測の事態が発生したとき迅速な避難行動ができるように、健康増進センターや学校体育館で運動以外の利用時に下履きにはできないか。

町長 避難行動には利点があると思いますが、床に傷を付けるわけにもいきませんので制限しています。

健康増進センターでは、シートの活用で上履き利用も考えておりますので、利用の仕方が適切であれば可能かと考えています。



舗装改良で安全避難を

産地直売所の運営は

(町長) 指定管理方式で



増山 勇 議員

質問 新年度事業にある「産地直売所」の第一の目的は、1次産業の担い手確保とあるが、担い手が増えるとは考えられないが。

町長 直売所が出来ても担い手が増えると考えてはいません。現在農業を行っている方の収入増や、移住して農業を希望する方への支援を同時並行して行うことを考えています。

質問 建設の財源内訳は。

町長 建設費の総額は約1億8000万円です。

内訳は国・県交付金と補助金で48%、町財源52%の8800万円は「ふるさと応援基金」を充当します。

質問 なぜ「ふるさと応援基金」を充当するのか。

町長 寄附金の目的として、産業の育成発展が一番多いので、1次産業から6次産業まで支援することがふさわしいと考えています。

質問 運営方法は。

町長 最終的には指定管理方式でお願いしたいです。

質問 収支計画をみると一日の売り上げが40万円と過大すぎるのではないか。

町長 国へ提出する際の計画であり、アドバイザーと検討したものです。

質問 一般管理費では、法定福利、福利厚生がゼロになっているなど、計画があまりにもずさんではないか。

町長 正式に申請するときには、修正していきます。

質問 開業時の経費はどのようになるのか。

町長 「地方創生推進交付金」1300万円の活用を考えています。

原子力災害対策は

国・県の指導を受け

質問 27年に町の防災計画へ原子力災害の項目が追加されている。

具体的な対策は何か。

町長 情報収集と国・県の指導を受け検討しています。

質問 島田市の原子力災害計画には西伊豆町が避難地となっているが。

町長 県の計画で承知しています。

わが町も被害があるかもしれません。



産地直売所建設は急ぐな



山本智之 議員

産地直売所の開業予定は

(町長) 2020年春休み中

質問 「産地直売所」開業までのスケジュールは。

町長 国からの交付金決定を受け、建設工事は2020年3月上旬までの完成を目指し、開業は春休み中を予定しています。

質問 運営方法は。

町長 民間の技術力や経営のノウハウを幅広く活用し、住民サービスの向上を図るために指定管理制度を導入したいと考えています。

質問 選考と指定管理期間は。

町長 これから仕様書を作り業務内容などを決め、「指定管理者選定委員会」で決定する予定です。

期間は、3～5年間で検討していきます。

質問 町が支払う経費は。

町長 指定管理料や経費は無い予定です。

初期経費の補助は「地方創生推進交付金」を活用し、2019年度は300万円、2020年度は1000万円を上限に、運営委託料としてオープンに向けて支援していきます。

公共施設の今後のあり方は

議会と協議し進める

質問 公共施設の今後のあり方を「西伊豆町過疎自立促進計画」・「西伊豆町公共施設等総合管理計画」に基づき、専門家・第三者を交えて継続的に議論し、提案していく機関が必要では。

町長 必要に応じた「審議委員会」などの設置はやぶさかではありませんが、町の将来を見据える事項であり、議会と協議をしながら進めていきたいです。

気象災害タイムライン作成は

代表者会議で決定

質問 「町民防災会議」の来年度予定は。

町長 代表者会議・ブロック会議を合わせて8～10回程度開催し、タイムラインや避難所運営マニュアルを作成していきたいです。

質問 自治会ごとの気象災害タイムラインの作成は。

町長 委託業者と協議中です。先進的取組をしている自治体を参考に代表者会議で決定してもらいたいです。



町設民営の「産地直売所」完成イメージ図

宿日直業務の見直しを！！

(町長) 住民の理解が必要



山田厚司 議員

質問 費用対効果、職員の負担軽減などを考慮し、宿日直業務を見直しでは。

町長 従来通り宿日直業務をしてほしいとの住民からの要望により実施しています。見直しには住民の理解が必要です。

質問 財政改革には事務事業の見直しが必要だ。

事業評価体制の現状と、事業の費用対効果などを表す評価シートの活用は。

町長 評価シートは28年度より使用していません。

評価体制は、予算編成時に編成方針を全職員に徹底し、約2ヶ月半の期間で査定・再査定と段階的に評価をしています。

質問 評価体制の見直しや、独自の評価シートを作成し、導入する考えは。

町長 現在、西伊豆町総合計画を策定中であり、策定後は従前の評価シートを含め、評価体制も再検討したいと思います。

多額費用の公共施設新設は

住民に必要な事業

質問 多額の費用が予想される公共施設の新設に対する町長の考えは。

町長 多岐にわたる問題に必要な準備をしています。

確かに費用はかかりますが、住民にとっては必要な事業と思います。

質問 施策の案などに住民から広く意見収集して考慮し、最終的な案を検討するパブリックコメントの導入は。

町長 現時点で具体案はなく、

パブリックコメントは出来ないと考えます。

質問 選挙公約の進捗状況は。

町長 事業の道筋が見え、また住民要望にも対応し、公約以上だと思えます。

質問 目玉的な介護保険料の値下げと松崎町との比較に対する対応は。

町長 健康長寿の延伸を目標に、視察などや健康づくり策を実施しています。

介護サービスを使わない方の軽減策として交付金事業を行います。

また、様々な施策で次期の値下げを目指します。



民間委託などの見直しで業務改善を



芹澤 孝 議員

賀茂、田子地区の児童クラブは

(町長) 実施は難しい

質問 仁科小学校で放課後児童クラブを実施して3年が経つ。仁科地区の児童、保護者は、その恩恵に浴しているが、同じ町内でありながら、賀茂、田子地区では、放課後児童クラブが実施されていない。

賀茂、田子地区での放課後児童クラブなどの放課後対策事業を実施する考えは。

町長 児童クラブの支援員は、短時間で安定した収入が得られない、放課後時間に働ける方が少ないなどにより、支援員の確保に苦慮しています。

実施したいのはやまやまですが、1カ所でも支援員の確保が限界の状態ですので賀茂、田子地区での実施は難しいと考えています。

質問 県内には、10人以下の小規模な放課後児童クラブが12カ所あり、10カ所が公設民営で運営している。

民営にすることで諸問題も解決すると思うが公設民営の検討はできないか。

町長 児童クラブの運営を、引き受けてくれる社会福祉法人、NPO法人があれば検討したいと思いますが、西伊豆町では見当たらないのではないかと考えます。

支援員の給与の改善は

検討して行きます

質問 児童クラブ支援員の労働条件はどうなっているか。

町長 平日13時～18時、土曜8時半～17時15分、長期休暇中8時半～17時45分で日給7500円、時給は968円です。その他は「臨時的任用

職員等身分の取扱要領」によります。

質問 支援員の確保のために最も問題になるのが給与である、国庫補助事業により給与面の処遇改善は出来ないのか。

教育委員会事務局長 安定的に支援員を確保するには給与面の処遇改善が必要と考えますが、他の臨時職員との均衡を計る上で、すぐには実施出来ないと考えます。ただ、支援員確保のためには補助事業の活用も必要だと考えますので、引き続き検討していきます。



賀茂、田子地区の放課後児童クラブ実施が望まれる！

敬老会行事の継続を

(町長) 区の主催で運営を



堤 豊 議員

質問 老人会組織が各地で消滅しているが。

町長 減少傾向であることは認識しています。

質問 敬老会行事への参加が年々減少し、お祝い金のみ受領する方が多くなっている現状が続いている。

敬老会を継続させていくことは必要と考えるが。

町長 区民の行事であり、区の主催で運営してもらいたいです。

質問 区長、町内会の後任人事について、各地区で苦勞されているが、町の対応は。

町長 現状は把握しています。消防団役員の人選などでも大変苦勞しています。ぜひ人選をお願いしたいところですが、人口減少が進んでいる中で複数の方が役員になることが難しいのであれば、合区などを提案するしかないのではと思います。

質問 仁科浜連合区では、佐波神社の人形三番叟などの三つの祭りを中心に開催しているが、最近では「若い

衆の力」が得られなくなり苦慮している。

地域の安全、五穀豊穰を祈念しての祭典であり、文化価値の高い伝統芸能などを上演している。

文化財を守る意味でも、助言、支援する考えは。

町長 人口減少、若者が少ない中で、祭りというコミュニティを続けることは、大変ですが、伝統を守ってもらいたいです。但し、負担増があるなら、祭りの規模縮小など区で議論していただければと考えます。

将来人口推計の対応は

移住、定住対策で

質問 国立社会保障人口問題研究所は、2045年の西伊豆町の人口は2852人になると推計している。

この結果についての町の対応は。

町長 10年、20年前から予想された推計です。

これ以上の人口減少がすまないよう若い世代が移住、定住する対策を立てています。



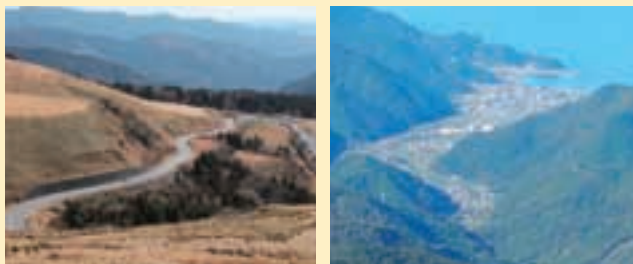
継続させよう敬老会

わが町の遊歩道 ⑧

町内にある10本の遊歩道をご紹介します。今回は「伊豆山稜線歩道」です。

伊豆山稜線歩道

仁科峠の駐車場から一気に階段状の遊歩道を登ると、物の数分で鍋石に到着します。ここからの景色は秀逸です。宇久須の集落と駿河湾、日本平に富士山、背後には猫越峠。数十万年前に噴火した猫越火山の溶岩流が西天城高原をつくりました。この猫越岳、猫も越えられる峠なのかはたまた伊豆の根っこなのか、伊豆の幹のような気がします。



風が強いせいか高い木は周りになく、今では伊豆でも珍しくなった笹地から遊歩道は始まります。ここを抜けると天城の林に入っていきます。途中にはかつては火口湖と呼ばれた溶岩流の窪地を通ります。見通しの良い高原と天城の樹林帯のコントラストが面白い遊歩道です。天城峠までは43km、つげ峠までは9kmの道のりです。

8回にわたり町の遊歩道を紹介してきました。あと2本の遊歩道がありますが、現在通行止めの箇所があるため、今号を持って終了とします。

ご紹介いただきました伊豆半島ジオガイド協会会長の仲田慶枝さん、ありがとうございました。

町内探訪 30

櫓こぎの会 会長



福井 建人さん
(宇久須在住)



静岡市の出身で、29年7月に地域おこし協力隊として移住された、福井さんにお話を伺いました。

質問 きっかけは。

福井さん ダイビングなどマリンスポーツが好きで伊豆に何度も訪れていたとき、町の募集を知り、印刷業のオペレーター職を辞して単身で移住しました。

質問 「櫓こぎの会」の活動は。

福井さん 田子小学校・西伊豆中学校の生徒や町を訪れた大学生などを対象に櫓こぎ体験をしています。

今後はトリアイナ（銀鱗）を拠点に、櫓こぎの継承者育成や櫓こぎ大会の復活など、活動の幅を広げていきたいです。

質問 そのほかの活動は。

福井さん 宇久須では消防第一分団に入り訓練に参加しています。また、新たな「田子まちづくり協議会」の立ち上げにも参加し、地域の方々と一緒に活動していきたいです。

[取材 山本洋志・山本智之]

平成31年4月15日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL (0558) 52-1962 FAX (0558) 52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、お気軽にお聞かせください。 TEL: 52-1962